

平成 18 年 5 月 24 日

第 1 回放送・通信バリアフリー委員会 提案事項レジュメ

『第 11 回 IAAF 世界陸上 2007 大阪大会』における  
字幕放送と解説放送番組の配信等について

多くの視覚障害者から、世界陸上 2007 における、テレビジョン実況放送番組の副音声を希望する声があがっている。また、それに伴う番組表、大会日程表の点字版、音声版も要望されている。

- ◆ 現在、大会組織委員会は大阪市に設置されており、日本ライトハウスからは非常に近い距離にある。在阪関係団体との連携の下、大会の事前情報、競技会場のバリアフリー化、競技に関する各種報道が障害者を排除することのないよう働きかけを行う所存である。
- ◆ 世界陸上 2007 大阪大会のホストブロードキャスターは、TBS。

障害者放送競技会では、2004 年のアテネで開催されたオリンピックでは字幕放送をはじめとする放送のバリアフリー化に関する要望を提出しており、本年のトリノでの冬季オリンピックとパラリンピックでは字幕放送と解説放送において一定の前進が見られた。

今回、障害者放送協議会として、日本陸上競技連盟、ならびに TBS に提出する要望をとりまとめてはどうか。

※ 厚生労働省、総務省、日本民間放送連盟など関係機関への働きかけ

【視覚障害者関係で検討すべき要望】

1. 番組の放送日程の点字版、音声版の発行等十分な事前情報の提供
2. 実況放送番組の解説放送の配信

以上